

令和5年度 貫井中学校・学校経営方針・計画

1 教育目標の達成へ

○教育目標 ・よく考える人 ・思いやりのある人 ・実践する人

憲法、教育基本法、学習指導要領及びその他法規を遵守し、生徒・保護者、地域の願いを受け止め、本校の教育目標達成のために努力する。

2 めざす学校像

- ◇基礎、基本をしっかり身に付けさせる学校
- ◇一人一人が大切にされる学校
- ◇歌声が響く学校
- ◇健康な体と豊かな心が育つ学校
- ◇保護者や地域の大勢の方々に支持される学校

3 めざす教師像

- ◇常に指導力向上をめざす教師
- ◇生徒を大切に育てる教師
- ◇生徒の心に響く言動ができる教師
- ◇常に危機意識をもってことにあたる教師
- ◇保護者や地域によりよく関わることができる教師

4 育てたい生徒像

- ◇基礎・基本を身に付け、主体的に深く学ぼうとする生徒
- ◇礼儀を大切にし、あいさつがしっかりできる生徒
- ◇自分も他人も、思いやることができる生徒
- ◇責任を果たし、進んで奉仕する生徒
- ◇夢を抱き、たくましく生きぬく生徒

5 令和5年度の重点目標

- I 学力の向上
- II 健全育成
- III キャリア教育の充実
- IV 開かれた学校づくりの推進
- V 小中一貫教育を意識した小中の連携
- VI 働き方改革の推進

6 共有の精神・合い言葉・テーマ

(1) 校章の精神 自律・誠実・根気・健康

(2) 経営の合い言葉と研究テーマ

①「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を温める」

②「勤務は楽しく、サービスは厳しく」

③校内研究テーマ「根拠をもとに自らの考えを伝えあえる生徒の育成」

～自分の考えを自分の言葉で適切に表現できる生徒の育成～

7 短期・中期・長期的な目標と具体的な方策

I 学力の向上

目 標・方 策

1 教師の指導力向上と実践

- ①指導と評価の一体化を図る評価規準及び主体的に学習に取り組む態度の評価方法の工夫
- ②全教師年間1回の研究授業の実施、講師招聘による年間3回の校内研究授業の実施
- ③ICT機器、eライブラリーを含む生徒用タブレットを活用した指導の工夫と実践
- ④習得－活用－探求の流れを意識した指導の実践と工夫
- ⑤校内研究テーマを意識した日々の指導実践と適切な単元での具現化

2 道徳授業力の向上

- ①道徳的实践意欲を引き出す資料やワークシートの工夫
- ②学年体制（ローテーション等）での取組を工夫した道徳授業の推進
- ③講師招聘による年1回の校内研究授業の実施（授業評価等の在り方、その他）

3 各教科の特色を活かした学力補充

- ①補習、ワークシート、レポート、作文、論文、体力づくり等の課題工夫、小テストの継続
- ②家庭学習や家庭での取組、ノート指導の工夫と授業等での具体的な評価規準の提示
- ③生徒用タブレットの授業での活用、eライブラリーの継続的な活用及び基礎・基本の定着

4 学校地域連携事業による学力補充

- ①学習ボランティアによる夏季学力補充教室（4日間）
- ②学習ボランティアによる年間4回の定期考査前の学習教室（16日間）
- ③地域サポーターの活用（実験補助、調理指導、着付け指導、箏の指導、英検補助、その他）

5 読書啓発

- ①各教科による読書指導、図書室の活用、生徒の朝読書の実施
- ②学校図書館管理員による読書月間の設定（各学期1回、計12回程度）

II 健全育成

目 標・方 策

1 基本的な生活習慣の徹底と規範意識の高揚

- ①あいさつ指導を中心とした各学年、各クラスによる基本的な生活習慣の徹底
- ②日常生活を適宜捉えた指導、各種たより、講話による指導

2 生徒が先生に相談しやすい雰囲気づくりと悩みの受け止め

- ①安心して生徒が先生に相談ができる教師の配慮ある言動と呼びかけ相談の励行
- ②生徒のサイン（悩み）の受け止めと情報共有
- ③何でも相談アンケートの実施（年間3回）、SCアンケート等の実施と適切な対応

3 豊かな心の育成といじめの防止

- ①生徒が訴えやすい雰囲気と気持ちのキャッチ、声かけ相談の励行
- ②道徳授業の工夫と充実、人権教育プログラム、豊かな心事業の活用
- ③生徒会の呼びかけによる練馬区いじめ一掃プロジェクトへの参加

4 不登校生徒の対応と改善

- ①担当を中心とした状況や実態の把握と全教員への情報提供と共有

- ②複数の教職員（各学年、担任、養護教諭、SC、心のふれあい相談員等）による生徒の対応
- ③校内規定に基づく居場所の適切な活用と対応、実践の継続
- ④保健室、教育相談室、マイステップアップルーム、図書室等の適切な活用
- ⑤生徒用タブレットを活用した不登校生徒対応

5 部活動の計画的な実施

- ①ガイドライン遵守（平日2時間半、休日3時間半、平日1日と週休日1日の休養日設定）
- ②月間予定、年間予定の作成と生徒・保護者等への提示と情報の提供
- ③新型コロナウイルス予防・対応と生徒の健康と安全の管理、家庭との連携、確認（活動の同意と確認）

III キャリア教育の充実

目 標・方 策

- 1 貫井中の進路指導・キャリア教育体系の実践と検証、改善
 - ①各学年の取組資料の整理と情報共有
 - ②学年ごとの取組実施後の分析と検証、改善
 - ③進路指導、キャリア教育の工夫と情報の共有、進路だよりによる情報提供（各月1回程度）
- 2 同窓生による職業講話、職場体験学習、上級学校等の学びの充実
 - ①実施後の適切な学びの振り返りと自己表現
 - ②キャリアパスポートの活用と自己の学びやキャリアの振り返り
- 3 主権者教育の実施
 - ①認知症サポーター養成講座の実施（総合：2年）
 - ②社会科租税教室実施と税の作文と標語の作成、コンクール応募、選挙啓発講座実施（総合、教科：3年）
- 4 面談、相談、進路説明会の充実と資料提供の工夫
 - ①キャリア教育・進路指導資料の提供 ②進学等資料の提供 ③進路だよりの継続発行
- 5 学校レガシー2020の推進
 - ①向上心、勇気、希望を指導項目とした道徳授業地区公開講座の実施
 - ②義肢講話（総合：2年）、地域クリーン運動（生徒奉仕活動）によるボランティアマインドの醸成、障害者理解
 - ③講師招聘による講演会等の実施
 - ④学校レガシー2020を意識した各教科による指導と工夫

IV 開かれた学校づくりの充実

目 標・方 策

- 1 学校公開の工夫
 - ①教務部による学校公開の工夫
 - ②生徒、教員による未来の貫井中学校へメッセージとなる開校60周年行事の適切な実施
- 2 情報提供の充実
 - ①各種だよりの発行 学校、学年、学級、保健、給食、進路、生活、小中一貫、図書その他
 - ②保護者会、面談での適切な資料提供と充実
- 3 PTAとの積極的な交流と関わり
 - ①各主幹教諭、各分掌・学年主任のPTA実行委員会への参加と情報提供
 - ②PTA広報誌の作成協力と各種委員会への全教員の参加
 - ③PTA活動を通じた保護者と教員の交流と相談活動の実践

4 学校評議員会への参加

- ①各主幹教諭、各学年主任の学校評議員会参加と情報提供
- ②異動教員、その他職員の紹介

V 小中一貫教育を意識した小中の連携

目 標・方 策

1 児童生徒の交流

- ①練二、練三小児童の貫井中学校訪問と合唱見学、部活動体験と見学
- ②近隣小学校を対象とした部活動見学・体験の実施（年間を通じて）
- ③中学校進学に向けた校内見学（合唱コンリハーサル見学を含む）と部活動体験・見学

2 共通の学習目標の設定と教員の交流

- ①小中相互の授業、研究授業の参観と課題共有シートの見直し
- ②校区别協議を通じた児童生徒の実態把握と課題分析、課題共有シートの検証
- ③中学校教員による出前授業の実施（年間1回程度）

3 保護者、地域への情報提供

- ①小中一貫クリエイターによる小中一貫教育だよりの発行（年間8回程度）
（校区别協議会の話題や様子、部活動体験見学、学校見学、その他、年間8回程度）

VI 働き方改革の推進

目 標・方 策

1 年休等取得の奨励

- ①年休最低7日間取得 ②夏休5日間必取得

2 定時退勤

- ①最低週に1度、各月4回 ②担任や副担、学年、事務室の連携による実現

3 学校閉庁日の設定

- ①年間5日程度週休日と連続した設定（8/7～8/14）、 ②留守番電話機能の活用

4 職務の効率化

- ①学校徴収金管理システムの効率的な活用と定着
- ②C4t h等を活用した各種企画書の共有と会議等の効率化

VII 都費事務・会計年度任用職員の方々へ

1 配当予算計画等の提示及び、効率的な予算の執行とコストの効率化

2 学校徴収金管理システムの定着と効果的な活用、会計管理への指導助言

3 監査、情報開示に耐える諸帳簿の整理と点検

4 教職員の福利厚生、給与面等の情報提供

5 生徒の安全を考えた施設設備の点検と迅速な修繕

VIII 教職員としての職務遂行

常に貫井中学校というチーム学校(組織)で行動していることやサービスの厳守を忘れず、教職員一人一人の適材適所での責務の遂行と尽力が大きな力になることを意識してください。

また、地域や保護者の方々は教職員一人一人の言葉遣いや言動、電話での対応等を貫井中学校のものとして捉え、我々教職員一人一人を注目しています。対応等に各自が自覚と責任をもって職務を遂行しましょう。（本校は今年、開校61周年を迎えます。）